

令和7年度 第1回森町総合教育会議 議事録

1 日 時 令和7年7月2日(水) 午後3時30分～午後5時00分

2 場 所 森町文化会館 第1研修室

3 出席者 森町長 太田 康雄
森町教育委員会
教育長 野口 和英
委 員 村松 昌吾
委 員 早馬 保男
委 員 佐藤 佐和子
委 員 宮崎 智栄

(説明出席者)

学校教育課長	塩澤 由記弥
学校教育課長補佐	土屋 成弘
庶務係長	鈴木 大地
学校管理係長	中尾 有紗
社会教育課長	三澤 由紀子
社会教育課長補佐	磯谷 博俊
健康こども課長	朝比奈 礼子
健康こども課長補佐	佐野 文乃

4 議 事 (1) 令和7年度 森町の教育について
(2) スタートアップ!Mori・Asahiクラブ事業について

5 傍聴人 0人

6 議事の概要

学校教育課長 開会

町長

本日は第1回総合教育会議にお集まりいただき御礼申し上げます。

早いもので7月ということで、今年度も第1四半期が終了し、また、令和7年で言うと半年が過ぎたということになる。

4月に町議会議員の選挙があり、改選が行われた。6月には改選後初めての森町議会定例会が開催され、補正予算の中で、本日の議題にもあるスタートアップ!Mori・Asahiクラブ事業の実証実験に関する予算、城下の藤江勝太郎家の改修に伴う予算を計上し、お認めいただいた。

また、一般質問においては、学校の防犯対策に関する質問と英語教育に関する質問が出され、教育長から答弁をした。

新しい議員さんを迎え、それぞれの議員さんが町政のどのようなことに関心を持って一般質問をされるかというのが気になるところだが、今回5人の議員さんが一般質問をされ、そのうちの2人が教育関係についての質問であった。

内容は議会だより等でご覧いただければと思う。いただいた内容、ご意見、ご提案について、実現可能なものについては、町としても取り入れていきたいと考えている。

また、7月1日の朝の同報無線、今月の町政でもお知らせをしたが、今年は森町合併70周年の年となる。11月1日に記念式典と記念講演を予定しており、記念講演については、森町出身の画家である松井冬子さんをお願いをしている。松井冬子さんのファンの方は全国にたくさんいらっしゃるため、そういった方々もお迎えして、松井冬子さんが生まれ育った森町を知っていただく機会にさせていただくのもいいのではないかと考えている。

本日は、「令和7年度の森町の教育について」、「スタートアップ! Mori・Asahiクラブ事業について」という議事を予定しているため、よろしくお願いする。

教育長

本日は第1回森町総合教育会議にお集まりいただき感謝申し上げます。現在、教育委員の皆様には、教育施設訪問ということで、町内の各施設を回っていただいております。明後日の旭が丘中学校、森幼稚園への訪問をもって今年度の予定は終了となる。どの園校においても、子供たちが生き生きと活動する姿が見られ、教員が保育、授業の準備をしっかりとしているということが見受けられたと思う。

さて、中学校では、中体連の磐周大会が早くも終盤ということだが、嬉しいことに、森中男子ソフトテニス部が団体で優勝、森中・旭中合同野球部が準優勝ということで、共に県大会への出場が決まった。また、男子ソフトテニスの個人の部では、森中から1ペアが県大会へ出場する。それから、県大会出場はなかったが、旭中女子バレー部は3位ということで、こちらも健闘した。また、6月に行われた西部地区の通信陸上競技大会で、森中1年生の男子生徒が100メートルで1位となった。短距離で西部1位というのはなかなかないので、今後が非常に楽しみである。他にも旭中、森中ともに県大会への出場者が数名おり、森中は、低学年リレーで西部3位ということで、非常に楽しみに思っている。

1学期も残り3週間となった。ここまで各園校においては、重大な事故や病気等なく良かった。昨日の園長校長会では、ねぎらいの気持ちを伝えると共に1学期の締めくくりと夏休みの事前指導を確実に行うように指示をした。

この後、各課から今年度の取り組みについて説明をするが、委員の皆様には様々な角度からご意見をいただければと思う。本日はよろしくお願いする。

学校教育課長

議事進行を町長にお願いする。

町長

議事(1)令和7年度森町の教育について、事務局から説明をお願いする。

健康こども課長

資料のとおり説明。

学校教育課長

資料のとおり説明。

社会教育課長

資料のとおり説明。

町長

健康こども課、学校教育課、社会教育課からの説明・報告について質問等あ

- るか。
- 村松委員 各課の説明を聞いて、やはり一番大事なのは現場であると感じた。今年も施設訪問に伺ったが、子供たちが伸び伸びと、目を輝かせて生活しているのを見て本当に安心した。
- 特に幼稚園教育では、子供たちが広いスペースを上手に使って運営しているのは、先生方の指導おかげだと考える。
- 森町の教育が、子供たちが安定し、充実しており嬉しいと思う反面、これから1年間でどういった成果があるかという点が気になってくる。学校の子供たちが1年間でどのような成長したかというのを教えていただきたいし、社会教育課ではいろんな活動をしているが、参加人数がどれくらいあってどういった活動になったかということも教えていただければと思う。第2回のこの会議を楽しみにしている。
- 早馬委員 ICT機器の活用という点で、施設訪問をさせていただいた際に、先生、生徒たちの様子を見て、授業の中できちんと定着しており、端末も使い慣れていて操作も早いと感じた。
- アナログとデジタルそれぞれの利用が望ましい場面で使い分けるという対応をされており、臨機応変に場面に合わせて使っていくことが大事なのだと思った。ICT機器を使用することによる弊害もあるかもしれないが、そういった部分も検証しながら先生方が適切に指導をしてくださっていると感じた。
- 宮崎委員 未就園児を対象とした幼稚園の体験入園は日程が決まっているのか。
- 健康こども課長 各園の日程は決まっており、年間5回ほどの機会を設けている。
- 対象年齢のお子さんがある世帯には、保育園を利用している世帯も含めてすべての世帯にご案内している。学区は問わず、どこの園に行っていただいても良い。園によっては決まっている日程以外にも見学等の受け入れが可能な日があるかもしれないので、希望があれば相談してほしい。
- 宮崎委員 見学や体験入園等で、家庭と幼稚園の心理的な距離が近くなれば幼稚園の良さが伝わると思う。現場の先生方は受け入れが大変な部分もあるかもしれないが、ぜひ続けていってほしい。教育施設訪問で伺った際に、広い空間で子供たちがゆったりと生活しているのを見て、幼稚園の環境の良さを再確認できた。
- 佐藤委員 町のホームページを拝見し、幼稚園の様子を発信していただいていることがよくわかった。公立幼稚園の再編と認定こども園化の検討をしていくとのことだが、前向きに具体的な検討が進んでいけば良いと考えている。
- 町長 続いて議事(2) スタートアップ! Mori・Asahiクラブ事業について事務局から説明をお願いします。
- 社会教育課長 資料のとおり説明。
- 社会教育課長補佐 資料のとおり説明。
- PR動画を視聴。
- 町長 社会教育課からの説明について質問等あるか。
- 村松委員 まだこれからの事業、たとえば参加者が少人数でも継続して行ってほしい。
- 魅力ある事業にするためには魅力ある施設の整備が必要だと考える。たとえば、町営グラウンドを芝生または人工芝にしてはどうか。怪我の防止にも繋がるし、子供たちだけではなく高齢者にとっても魅力的な施設になると思う。サ

ッカー、グラウンドゴルフ等に活用できるし、トラックを整備すれば陸上もできる。町民の集う場所にもなるし、健康増進にもつながる。ぜひご検討いただければと思う。

町長 良い物があれば人が集まるということはあると思う。可能性は検討すべきかと考える。

早馬委員 『中学校＝部活動』というイメージが強く、地域移行は難しい印象がある。継続することが部活動の意義のひとつであると感じているため、生徒の活動、指導者の確保も含め、事業を継続していくことが重要かつ難しい点なのではと思う。とはいえ、やってみないことには何も始まらないため、非常に良い取り組みだと思う。

佐藤委員 部活動とはちがった種目が多い印象を受けた。選択肢が多く、見ていてわくわくする。これから実施していく中で課題等が見えてくると思うが、良い方向に向かっていけばと感じている。

宮崎委員 綿密に計画していただいているし、内容が非常に魅力あるものだと感じる。9月から開始とのことだが、途中からの加入は可能か。

社会教育課長補佐 今回の実証実験では期間途中の加入は想定していない。

教育長 本事業については、作業部会での検討を重ね、やっとここまで来たと感じているところである。効果や課題について検証し、軌道に乗っていけば、今後の部活動地域移行にもつながっていくと考えている。

本事業については、PRのために新聞社にも情報を提供し、同報無線でも呼びかける予定でいる。

町長 事務局の説明にもあったように、トライアル事業として実施するため、課題の洗い出しのための活動である。

部活動に限らず、続けることに意味がある、やり始めたらやり通すというような意識があるが、今の子供たちの価値観が果たしてそうなのか。そういった意識を養うのか、子供たちの特性に合わせていくのかが難しいところである。

スポーツ、習い事等について、やってみて楽しければ続けられると思うが、やってみて楽しくなくても続けなくてはならないのかという部分も探ることができるかもしれない。

村松委員 町長もおっしゃるように、継続することについての捉え方は色々あって良いと思う。大事なのは子供自身が興味・関心をもって取り組むことだと考える。

佐藤委員 学校には登校していたものの、急遽クラブ活動を欠席する場合等の連絡はどのようにするのか。

教育長 アプリを活用する予定でいるが、具体的にはこれから検討する余地がある。

町長 議事については、以上で終了となる。

学校教育課長 閉会